

立正大学経済研究所公開講座

石橋湛山の 経済政策思想

—経済分析の帰結としての
自由主義、民主主義、平和主義—

2023年12月14日(木)

開場18:00／開演18:30

立正大学品川キャンパス
石橋湛山記念講堂

石橋湛山が正しく評価されていれば
日本はデフレに陥らなかった

石橋湛山の昭和恐慌に対する正しい理解と提言はなぜ歴史から消えたのか。経済において人間という資本の活用こそが最も重要という信念はなぜ伝わらなかったのか。文献とデータを丹念に追い、その謎を解き明かします。



講演者 **原田 泰氏** 名古屋商科大学
ビジネススクール教授

コメンテーター **リチャード E. ダイク氏** 日本産業パートナーズ(株)取締役

柿埜 真吾氏 高崎経済大学非常勤講師

和田 みき子氏 明治学院大学社会学部附属研究所研究員・立正大学石橋湛山研究センター特別研究員



参加無料

立正大学経済学部ホームページからお申込み下さい。 <https://keizai.ris.ac.jp/>

参加方法は対面のみとなります。

参加定員: 500名 (先着順)

【出演者略歴】



はらだ ゆたか

原田 泰

名古屋商科大学ビジネススクール教授

東京大学農学部卒。学習院大学経済学博士。経済企画庁入庁、財務省財務総合政策研究所次長、大和総研専務理事チーフエコノミスト、早稲田大学政治経済学術院教授、日本銀行政策委員会審議委員等を経て現職。主な著書に、『昭和恐慌の研究』（共著）、『日本国の原則』、『日本はなぜ貧しい人が多いのか』、『震災復興 欺瞞の構図』、『昭和恐慌と金融政策』（共著）、『ベーシックインカム』、『石橋湛山の経済政策思想』、『デフレと闘う』『コロナ政策の費用対効果』、『プーチンの失敗と民主主義国の強さ』など。第47回日経・経済図書文化賞、第29回石橋湛山賞、日本統計学会第3回中村隆英賞受賞。



Richard E. Dyck

リチャード E. ダイク

日本産業パートナーズ株式会社取締役

カリフォルニア州立大学卒業、ハーバード大学Ph. D。ハーバード大学助教授、オハイオ州立大学助教授、日本ゼネラルエレクトリック北太平洋地域販売部長、テラダイン社日本法人テラダイン株式会社代表取締役、テラダイン社アジア事業担当副社長を経て現職。日本貿易振興機構（JETRO）、東京フィルハーモニー、西町インターナショナルスクール、笹川平和財団、日米友好基金や各種産業貿易機関や政府の諮問委員会の理事等の職を歴任。1999年内閣総理大臣より貿易表彰受賞。学校、孤児院、地域の病院など、カンボジアでいくつかのプロジェクトをサポート。『石橋湛山全集』から厳選した論稿を英訳し一冊にまとめて米国で出版する予定。



かきの しんご

柿埜 真吾

高崎経済大学非常勤講師

学習院大学文学部哲学科卒業、経済学研究科修士課程修了。立教大学兼任講師等を経て現職。学習院大学経済経営研究所客員所員。主な著書に、『ミルトン・フリードマンの日本経済論』、『自由と成長の経済学 「人新世」と「脱成長コミュニズム」の罫』、『自由な社会をつくる経済学』（岩田規久男氏との共著）、『本当に役立つ経済学全史』など。



わだ みきこ

和田 みき子

明治学院大学社会学部附属研究所研究員・立正大学石橋湛山研究センター特別研究員

早稲田大学第一文学部卒業。コピーライターとして働く傍らフィリピン・ミンダナオにて農村保健プログラムに参加。NGO「アジア井戸ばた会」を設立し日本の上総掘り技術を現地に伝える。助産師資格取得後フランスの産院にて研修。明治学院大学社会学博士。著書に『猪間驥一評伝』、『石橋湛山の経済政策思想』（原田泰氏との共著）。「1920年代の都市における巡回産婆事業—経済学者、猪間驥一の調査研究を通して」にて第4回河上肇賞奨励賞受賞。

【会場アクセス】

立正大学品川キャンパス 石橋湛山講堂

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

JR山手線：五反田駅または大崎駅下車 徒歩5分

都営浅草線：五反田駅下車 徒歩5分

東急池上線：大崎広小路駅下車 徒歩1分

問い合わせ：立正大学経済学部事務室

TEL:03-3492-7529(回~罫 10:00 ~ 17:00)

E-mail:eco@ris.ac.jp

